

生命いのちの言葉 平成二十九年十月

丹精は誰しらずともおのづから  
秋のみのりのまさる数々

二宮尊徳にのみや さんとく

裏面もご覧下さい。

十月 生命いのちの言葉

精進している人の仕事は、  
誰にも見向きされなくても、  
時がくれば自ずから  
結果として見えてくる。

『三才獨楽集』

二宮尊徳 (にのみや さんとく)

天明七年(一七八七)〜安政三年(一八五六)。

江戸時代後期の農政家。通称金次郎。各地で荒廃した  
農村の復興にあたりと共に、天地人三才の徳に報いる  
報徳思想を唱えた。明治以降は勤儉力行の象徴  
として、全国の小学校に少年金次郎像が建てられた。

今月の祝日

【体育の日(九日)】スポーツに親しみ、健康な心と身体をつくることに心がけましょう。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



神社は心のふるさと  
未来に受け継ごう  
「美しい国ぶり」